

敬呈経過及動様

本組合創立の約一ヶ月以内の間に岡山會の労働組合足袋二文部があらたの産業別組合組織を標榜し、市誌登載人等数不盡力の結果、大正十三年八月月中旬、岡山市禁内區會館に聯合会と名付し、出向時の参考は若く五名であつた。

主張

日本労働總同盟、日本労働組合評議會を参照

會員勢力

但合員 六五名

大正一三、八創立當時總員

一五〇名(内女九〇名)

大正一四、一〇但合員

二〇名 つけねの會社

八〇名 地自の會社

大正一四、五、六年迄急激な依拠當時の加盟

第議の決果全々

四〇名 若杉足袋の會社

解雇

五九の會社

多岐、若杉、若杉の會社の合併によるもの

地自、若杉、若杉の會社の合併によるもの

宝の會社

若杉、若杉の會社の合併によるもの

今収入

熟練工は諸員初級。不熟練工は若杉初級(不熟練代は諸員初級に改む)

月別、好況、不況、親方別、一掃ありす